

<b>主 題</b>	信頼できる友達	<b>内容項目</b>	2-(3)
<b>資料名</b>	教えちゃだめだったの？ (1年生)	用いる疑似体験の指導	メール (スタモバ)
<b>ねらい</b>	メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。		
<b>主題構成の理由</b>	携帯電話を持っている生徒は、連絡やささいなことを報告することにもメールを使用する。機能として安易に転送することもできる。メールに対する価値観が人それぞれ違うので、友達の気持ちを考えて正しく使うことに気づかせたい。		
<b>展開の概要</b>		<b>指導上の留意点</b>	
<b>導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親しい友人の秘密を他人にばらしてしまっただことがありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秘密にしていたことをばらしたり、ばらされたりした経験をもとにして、資料への関心を高める。</li> </ul>	
<b>展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学の問題の「助けてメール」を出したアツコをどう思いますか。</li> <li>・ アツコは、どうしてユウコのメールをみんなに転送したのでしょうか。</li> <li>・ メールを転送したアツコを、ユウコはどう思いましたか。</li> <li>・ トモミの話聞いてアツコは何に気づいたのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アツコの行動に対して自分の考えをもつ。</li> <li>・ 転送されたユウコの気持ちになって考える。</li> </ul>	
<b>終末</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トモミに対して伝えたいことを文章に表してみましよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユウコにどんな話をするのか考える。</li> </ul>	
<b>他の教育活動との関連</b>			